オープン CAE シンポジウム 2018 印刷用原稿の書き方 (和文表題) TeX のテンプレート (和文副題)

氏名^{1†} 氏名² 氏名³ ¹ 所属 ² 所属 ³ 所属

Manuscripts preparation guide for the OpenCAE symposium 2018 (English Title) The case of T_FX(English Sub-Title)

Firstname FAMILYNAME* Firstname FAMILYNAME***

*affiliation ***affiliation ***affiliation

Abstract

Abstract Abs

Keywords: Keyword1, Keyword2, Keyword3, Keyword4, Keyword5

1. 原稿について

1.1. 様式

- 用紙: A4 です.
- 余白: 上下 25mm, 左右 20mm です. 英文概要とキーワードの行は, さらに左右 6.5mm の余白を設けてください.
- 段組:1 段組です.
- 頁数: 最小1ページ, 最大10ページ, 標準2~4ページとします.

1.2. 本文

- 言語:日本語または英語です.
- 句読点: 本文が日本語の場合,句読点として,全角の読点「,」(カンマ)と句点「.」(ピリオド)を用いてください.
- 段落最初の行の字下げ:1 文字です.
- 題目 · 所属
 - 本文が日本語の場合,日本語での題目,著者名と所属の記載に続けて,英語でも同内容を記載してください.
 - 本文が英語の場合, 英語の題目および著者名と所属のみの記載でも結構です.
- 英文概要: 40 から 80 ワード程度で記載ください. なお, 英文概要は省略しても構いません.
- キーワード: 講演内容を良く表すキーワードを最低3語,通常5語程度選定し,英語で記入ください.
- 字体
 - 本文: 明朝体・Serif 系 (Cambria など) を使用してください.
 - 題目・著者名・所属・見出し・図表キャプション: ゴシック体・Sans-serif 系 (Calibri など)を使用してください。キーワードの見出し (Keywords) は Sans-serif のイタリック体を使用してください。
- 文字の大きさ
 - 題目:14 ポイント
 - 副題・大見出し: 12 ポイント
 - ヘッダ・フッタ:8ポイント

[†] E-mail address of corresponding author: corresponding.author@opencae.or.jp

- 上記以外 (本文・著者名・所属・Abstract・キーワード・図表キャプション・大見出し以外の見出し・ページ番号など): 10 ポイント
- 参考文献
 - 参考文献は、本文中の引用箇所の末尾に角括弧をつけた番号で表し、本文の末尾にまとめて列記してください.
 - WEB ページについても、参考文献 [1] 等を参考にして、URL やアクセス日付を明記してください.

1.3. 図表

- 言語: 図表中の記号およびキャプションは英語とします.
- 字体・文字の大きさ: 明瞭である限り、図表中の字体や文字の大きさは任意です。
- 本文中での参照:図1,表1などと記載してください.

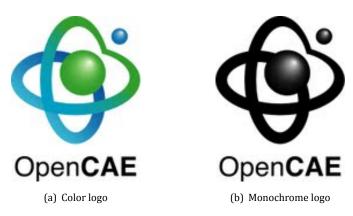


Fig. 1 Logo of the OpenCAE Society Japan

2. 原稿提出について

- ファイル形式: PDF 形式で提出ください.
- ファイルサイズ: 最大 20MB です.
- フォント: 提出される PDF ファイルに全てのフォントが埋め込れている事を確認ください.
- URL: リンクを付加してください. また,可能であれば,図表の参照についてもリンクを付加してください. リンクされた文字は青色としてください.
- 提出方法: オープン CAE シンポジウム 2018 の WEB ページ http://www.opencae.or.jp/activity/symposium/opencae_symposium2018/ をご参照の上、提出してください.

3. お問い合わせ

ご不明点については、お手数ですが、表1のシンポジウム事務局まで、電子メールでお問い合わせください.

E-mail address symposium2018@opencae.or.jp

Table 1 Secretariat of the OpenCAE symposium 2018

参考文献

[1] 科学技術情報流通技術基準参照文献の書き方 SIST 02 - 2007, 独立行政法人科学技術振興機構 (2007). http://jipsti.jst.go.jp/sist/pdf/SIST02-2007.pdf (accessed 2015-09-29).